



たがわ



暮れの風物詩 田川もちつき大会



令和2年1月1日現在	
総世帯数	0000世帯
総人口	0000人
男	0000人
女	0000人



副会長 西村由紀子
(子ども会育成会)

12月15日(日)に、田川地区子ども会育成会主催の「もちつき大会」が100人を超える参加でにぎやかに行われました。家庭で継承することが難しくなってきたり、地域の用いている杵と臼を用いてのもちつきを、地域の方の手ほどきを受けながら行いました。

小さな子どもたちも軽量の杵でもちつきに参加し、つきたてのお餅はお好みの味付けでおいしくいただきました。

保護者世代としては、知恵のある地域の方と交流する貴重な機会でもあり、有意義な時間となりました。



書き初めで 集チユルカ アツプ!



田川公民館の冬休み応援企画として、1月6日(月)、恒例行事となった「まゆだまづくり」と「書初め講習会」が開催され、小学生と保護者21人が参加しました。

子どもたちは、午前中、地域の皆さんに教わりながら、まゆだまを作り交流しました。昼食にお雑煮を食べたあと、午後からの書初めでは、「つよい心」「正月の朝」など、学校で出され



た課題に黙々と取り組む姿が見られました。

今回はじめて毛筆を持った1、2年生も「うめ」や「正月」といった課題字に挑戦し、「難しかったけど楽しかった」との感想も聞かれました。



・田川おはなしの会

今年度は、近隣の小学校での読み聞かせや保育園・児童センターでの公演のほかに、新しく「大人の読み聞かせ」として、「ひろば喫茶」にもお邪魔させていただくようになりました。

また、信毎メディアガーデン主催の「ほんまちブックガーデン」に出演したり、チェルノブイリ連帯基金で公演したりと、活動範囲がぐんと広がりました。

出演する場所によって観客も変わり、そのつど演目を練



り直すなど、かなり鍛えられメンバー全員の底力が上がったと感じています（ありがたいことです）。

先日、公演した先で「大人になると人に本を読んでもらうことがないので嬉しい」との言葉をかけていただきました。日々の雑事に追われ、なかなか本を開くこともままありませんが、ふとした折に耳にした言葉が支えになり、励みとなることもあります。ご依頼くだされば、どこにでも馳せ参じますので、ぜひお気軽にお声がけ下さい。

（田川おはなしの会

染谷恵理子）

わがまち

―渚宮本町会―

「長野県の地名（日本歴史地名大系）」に「渚村の西、奈良井川端に渚神社がある」とされるように、渚宮本町会には渚大神社があり、「信府統記」にも「産神明神当社ハ水上ケ大明神ト申伝フ。年数知レズ」との記述があります。

二年参りに始まり節分や4月のお祭りなど、いろいろな催し物が行われ、そのたびに老若男女大勢の人々が集まり楽しめます。また、境内は広く安全で

地震の際の一時避難場所にも定めています。町内の住民はここに集合し、最終避難場所へと向かいます。

宮本町会の一の魅力は、行事への参加者が多いことで、よく他の町会の人からもうらやましがられます。普段のコミュニケーションがよくなされ、隣近所誘い合いながら、参加しやすい環境が町内にあると思います。田川公民館が近くにあるということも大きな要因です。

国道19号線の拡幅工事が進むにつれ、一軒また一軒と立退き、家は解体され、親しくお付き合いしていた人たちが

他所へ移り寂しいかぎりですが、このような雰囲気はいつまでも大切にしていきたいと思っています。

（渚宮本町会長

水口 伸夫）



田川百景
～最後の見納め～



国道19号渚2丁目と3丁目信号機間に長い間使われずにありました、渚消防署のち交番として、昭和、平成と田川地域の安全を見守ってきた建物が、令和元年12月に取り壊されました。

田川地区では、見慣れ親しんでいた建物が今後もいつのまにか消えてしまいます。写真にかつての面影を残しつつ、最後の見納めとなりました。

【館報編集委員 越山】

※館報編集委員会では、「田川百景」として記録に残したい田川地区の自然、街並みなどの写真を募集しています。写真にコメントを添えて、事務局（田川公民館）までお寄せください。